

平成28年 会員企業海外事業概況調査

日本ばね工業会総務委員会（委員長 伊藤雅之 月島発条(株)社長）は全会員を対象に海外事業についてのアンケート調査を行いました。

平成24年には5回目の詳細調査を実施した後、平成25年からは毎年概況調査を実施することとし今年も実施しました。

アンケートの回収率は49.5%で昨年とほぼ同数の回答がありました。海外生産拠点があると回答した会員数は50社で、昨年と同じです。現在既に海外展開しており、更に展開したいと回答した会員が6社、海外生産拠点が無いが新たに海外展開を検討したいと回答した会員は3社でした。ばねメーカーにとっては今後も海外での事業の必要性は変わらないと思われます。

調査の結果を見ると、アジア諸国のみならず北米中南米での事業の重要性が高まっており、日本ばね工業会としてもアジア諸国、北米中南米諸国との交流と連携を深めることが会員各社の利益につながると考えます。以下に、前回との比較と個別の結果を報告します。

来年度以降も継続して年1回、会員各社の海外事業の状況を調査していく予定です。アンケートにご協力いただいた皆様に感謝申し上げますとともに、一層のご協力をお願いします。

1. 海外展開の状況（表1）

昨年に比べ延べ3社・2拠点増加している。内訳としてはアジアが増減なし、北中南米が3拠点増加、欧州が1拠点減少となっている。国別に見てみると、中国3拠点減、ベトナム1拠点増、マレーシア1拠点減、インドネシア2拠点増、スリランカ1拠点増、米国2拠点増、メキシコ1拠点増、英国1拠点減となっている。特にここ数年でのメキシコ拠点数の増加が顕著で今回で6拠点となっている。

2. 将来の計画（表2）

既に海外進出しているが、更に事業展開を検討している会員では6社が具体的な計画を持っている。その地域は昨年同様アジア地域が多いが、中南米の特にメキシコ、また欧州にも興味

を示しており、昨年同様2社から中欧で具体的な計画があるとの回答であった。また初めて海外展開しなければならないとしている会員が対象とする地域は、昨年同様にアジア地域（インドネシア、マレーシア、フィリピン）、また欧州にも興味との回答であった。

3. 事業規模（表3）

売上げ規模は国内比で平成25年が91%、26年が96%、27年が105%と国内と肩を並べるまでに着実に成長してきたが、為替等の影響もあり、今回は95%となった。雇用する従業員数の国内との比較では平成25年が120%、26年が112%、27が116%、今回は118%であった。この面からも海外事業の重要性は変わりないことがよく判る。

売上金額は、回答数の変動や為替レートの影響もあり、一概に比較を行なうことは難しいが、今回は昨年調査より8%減となっている（昨年調査は10%増）。

地域別にみると、アジア地域が昨年調査比▼10%（前回+12%）、北中南米は▼7%（前回+

5%）、欧州は+6%（昨年+22%）であった。年を追うごとに海外展開抜きでは企業経営が成り立たない状況が続いており、その展開先として従来はアジア地域が主であったが、ここに来て中南米地域もという傾向が見られるようになってきている。

表1. 海外展開の状況

地域	国別	会社数					事業所拠点数					売上高（百万円）			従業員	
		25年	26年	27年	28年	増減	25年	26年	27年	28年	増減	26年	27年	28年	合計	日本人
合計		98	105	110	113	3	126	130	135	137	2	293,427	322,167	295,543	25,565	318
アジア	中国	32	33	35	33	-2	51	50	52	49	-3					
	韓国	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0					
	台湾	2	2	2	2	0	2	2	2	2	0					
	フィリピン	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0					
	タイ	21	22	24	24	0	23	23	25	25	0					
	ベトナム	5	5	5	6	1	5	5	5	6	1					
	シンガポール	2	2	2	2	0	2	2	2	2	0					
	マレーシア	3	4	4	3	-1	3	4	4	3	-1					
	インドネシア	9	10	10	12	2	9	10	10	12	2					
	インド	2	3	3	3	0	3	5	5	5	0					
	スリランカ	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1					
小計		78	83	87	88	1	100	103	107	107	0	172,529	192,735	172,641	20,822	247
北中南米	米国	11	11	10	11	1	16	15	14	16	2					
	カナダ	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0					
	メキシコ	3	3	5	6	1	3	3	5	6	1					
	ブラジル	2	2	2	2	0	2	2	2	2	0					
	小計		16	17	18	20	2	21	21	22	25	3	108,400	114,188	106,699	4,139
欧州	スペイン	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0					
	英国	2	2	2	2	0	3	3	3	2	-1					
	ドイツ	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0					
	チェコ	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0					
	小計		4	5	5	5	0	5	6	6	5	-1	12,498	15,244	16,203	604

(注) いずれの調査もその時点では会員であったが、その後退会した会員の回答も含む。

表 2. 将来の計画

既に海外展開している会員が更に計画	具体的計画あり：6社（複数回答あり）インド3社・メキシコ2社・チェコ・ハンガリー （昨年7社 タイ・インドネシア・ベトナム・インド2社・メキシコ3社・チェコ・ハンガリー）
	検討課題として：3社 インドネシア・ドイツ・欧州 （昨年7社 インドネシア・アセアン2社・ドイツ・ブラジル・メキシコ・中南米・未定2社）
まだ海外展開していない会員が計画	具体的計画あり：1社 タイ （昨年0社）
	検討課題として：3（複数回答あり）アジア・欧州・インドネシア・マレーシア・フィリピン （昨年5社 タイ・マレーシア・フィリピン・ベトナム）

表 3. 事業規模(売上高は調査時期のレートで換算。金額人数とも未回答があり概数。)

	売上高（百万円）			従業員数		
	国内	海外	国内比	国内	海外（内日本人）	国内比
平成25年	310,690	282,719	91%	21,928	26,238（332）	120%
平成26年	305,296	293,426	96%	21,804	24,346（313）	112%
平成27年	307,919	322,167	105%	21,774	25,246（318）	116%
平成28年	311,353	295,543	95%	21,723	25,565（318）	118%

注：国内売上高は経産省統計による。いずれも前年実績。国内従業員数は会員の自主申告数。

海外事業があると回答した会員（五十音順）

東部支部	(22社) アドバネクス・京浜発條・小林スプリング製作所・小松ばね工業・幸手スプリング・スミハツ・精発ばね工業・多賀製作所・月島発條・東京発條製作所・日産スプリング・日東発條・日発精密工業・日本発條・パイオラックス・速水発條・マイクロ発條・三菱製鋼・村田発條・森下スプリング工業・やまと工業・山二発條
中部支部	(18社) 伊藤スプリング製作所・京浜金属工業・沢根スプリング・シンダイ・鈴木スプリング製作所・タケダ・大同ばね・知多鋼業・中央発條・中京バネ工業・中庸スプリング・東海スプリング製作所・東郷製作所・名古屋発條工業・林スプリング製作所・松尾製作所・瑞穂スプリング製作所・名興発條
西部支部	(10社) 関西発條・国産バネ工業・サンコール・山陽・大洋発條製作所・特殊発條興業・トヨシマ・廣瀬スプリング製作所・森田スプリング製作所・モリテックスチール